

事業概略書

事業名	異分野コラボレーションによる障害者アートの市場開拓に関する調査研究
事業目的	<p>近年、障害のある人たちがつくるアート作品を販売し、就労につなげていく試みが注目されているが、障害のある人たちがつくるアートには希少な作品も多く、原画を販売していただくだけでは限界があると感じている。</p> <p>そこで、私たちは障害のある人がつくりだすアート作品を仕事につなげるために、異なる分野や業種と組み合わせ、より多くの人に普及し市場を開拓する方法を探る。また障害のある人の表現の魅力を映像やウェブサイトにも普及する方策等を検討する。こうした異分野とのコラボレーションを通して障害者の社会参加にとどまらず、地域振興や文化創造につなげることをめざす。</p>
事業概要	<p>(1) 検討委員会の開催 さまざまな分野の専門家を招き、障害者アートの異分野とのコラボレーションの可能性や障害者アートの社会化について検討した。</p> <p>(2) 調査 デザイン化（二次使用）、原画や複製画の販売等について調査を行った。また試行事業を通し、今後の展開についての課題や可能性を明らかにした。</p> <p>(3) 試行事業の実施</p> <p>①アートレンタル事業〈プライベート美術館〉：障害のある人の制作するアート作品を店舗や事業所、公共空間等で展示する試みを実施した。</p> <p>②テキスタイル製品の開発：障害者アートの展開事例として、テキスタイル製品の試作開発に取り組んだ。</p> <p>③映像コンテンツの制作：障害者アートや障害のある人の表現活動をより魅力的に伝えるための映像を制作した。</p> <p>④ビジュアルブックの作成：絵画をデザインとして使用しグッズにしたものや公共空間での複製画等の展示の様子をまとめた。</p>
事業実施結果及び効果	<p>多様な表現分野、従来とは異なった媒体や業種とかかわることで、障害者アートがより多くの人に普及し、市場開拓につながるということがわかった。試行事業の「アートレンタル〈プライベート美術館〉」では新しいレンタル手法についての成果がみられたが、今後はビジネスモデルとしての仕組みづくりが必要となる。映像コンテンツの制作では、障害のある人の新しい魅力を再発見でき、広報、営業ツールとしての効果が期待できる。また、検討委員会では、障害者アートの社会化を支えるための基盤整備等について、専門家とともに議論できた。</p> <p>本事業の成果を伝えるウェブサイトでは、今後も障害のある人のアートに関する情報（障害者アートに関する展覧会等の最新情報やグッズ等に関する情報、研究活動等）を継続的に発信し、多くの人と共有できるようにする。</p>
事業主体	<p>〒630-8044 奈良県奈良市六条西3-25-4 財団法人たんぽぽの家 TEL : 0742-43-7055 E-MAIL : tanpopo@popo.or.jp</p>